

授業コード	2104695nh1	科目ナンバリング	-----
授業名	現代マスコミ論(RD)		
英文名	Contemporary Mass Communication Theory		
配当学年	2年	単位数	2.0単位
開講年度・学期	2023年度前期	曜日・時限	月曜2限
実施教室			
授業形態	講義		
学位授与方針（DP）	コンピュータソフトウェアコースDP- ネットワークシステムコースDP- アミューズメントデザインコースDP2・3 社会コミュニケーションコースDP3 コンピュータサイエンスコースDP-		
担当教員(先頭者が主担当)	中山 洋		

目的概要	最近の報道では、ときおり「フェイク・ニュース」が飛び交う。事実無根の情報、あるいは事実を曲解してつくられた情報、ようするに虚偽の情報を意味する。本講義ではこれらの虚偽情報を例外とみるのではなく一つの情報の在り方とみなして批判的に検討し、そのような事態に対して、情報リテラシーをもって接する態度を身につけることを目的とする。 なお、今年度は対面による講義を実施する。 WebClassまたは、Unipaの履修者用揭示版を参照してください。
達成目標	毎回の講義で各自が課題（①政治、②社会、③経済、④国際、⑤環境、⑥科学IT、⑦カルチャー、⑧地域）を選択しPPTでの発表と課題レポートを提出する。 これらによって、以下の達成目標の習得をめざす。 ①履修生は、ある出来事に関して、新聞・雑誌・ネットなど複数のメディアを通じて情報を入手できる。 ②入手した複数の情報を比較検討し、一つの情報にまとめることができる。 ③まとめた情報を履修生相互に比較検討し、相互に批評できる。
関連科目	メディア×カルチャー
履修条件	なし
教科書名	なし
参考書名	新聞からの時事問題
評価方法	① 課題発表（PPT）と課題レポート（50％） 毎回1人15分（10分発表：5分質疑）で4人から5人 ② 期末テスト（50％） 注意事項：中間・期末テストには新聞からの時事問題も出題される、毎日かならず新聞を読む習慣をつけてテスト対策とするように。時事問題は就職面接およびSPI試験では必須項目となっている。 ③ 講義中の質問に対する回答（+α） 達成目標：①が40％、②が40パーセント、③が20％
事前・事後学習	【事前学習】毎日かならず新聞を読む習慣をつけて次の講義で質問できるようにする。 【事後学習】毎回の授業で提示される課題発表の準備
自由記載欄	【アクティブラーニング】 学生の理解度に応じた質問事項を用意し、教師と学生が自主的に研究内容についての互いにディスカッション形式で質問しあえる時間を設ける 【ICTの活用】 ネットワーク対応のコンピュータ等を用いて、学生が研究内容についての質問事項に対する調査を自主的にに行い、教師が学生の理解度を把握しながら特別研究の指導を行う。 【PBL（問題解決型学習）】 現代社会における問題事柄を取り上げ、それに対する問題解決型学習（PBL）を実施する。

テーマ・学習内容	
<第1回>	まず、概要説明、発表スケジュールを作成する。 次に、マス・コミュニケーションの概念を解説する。また、毎回、授業後においては授業中に配布された資料を再読し、内容の理解を深めること。第2回以降も同様。
第1回 事前・事後学習	【事前学習】用語「マス・コミュニケーション」の概念を調査する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第2回>	マス・コミュニケーションの政治的な展開について解説する。
第2回 事前・事後学習	【事前学習】用語「マス・コミュニケーション」の歴史を調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第3回>	マス・コミュニケーションの社会的な展開について解説する。 新聞トップ記事の意味・役割なども解説する。
第3回 事前・事後学習	【事前学習】新聞トップ記事を各紙について調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第4回>	マス・コミュニケーションの経済的な展開について解説する。 新聞社会面の意味・役割を解説する。
第4回 事前・事後学習	【事前学習】新聞社会面を各紙について調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第5回>	マス・コミュニケーションの国際的な展開について解説する。 新聞政治面の意味・役割を解説する。
第5回 事前・事後学習	【事前学習】新聞政治面を各紙について調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第6回>	マス・コミュニケーションの環境面における展開について解説する。 新聞経済面の意味・役割を解説する。
第6回 事前・事後学習	【事前学習】新聞経済面を各紙について調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第7回>	マス・コミュニケーションの科学IT面（マルチメディア）における展開について2回にわたって解説する。第1回 新聞国際面の意味・役割を解説する。中間試験実施。
第7回 事前・事後学習	【事前学習】新聞国際面を各紙について調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第8回>	マス・コミュニケーションの科学IT面（マルチメディア）における展開について2回にわたって解説する。第2回 新聞サイエンス面の意味・役割を解説する。
第8回 事前・事後学習	【事前学習】新聞サイエンス面を各紙について調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第9回>	マス・コミュニケーションのカルチャー面における展開について解説する。 新聞スポーツ面の意味・役割を解説する。
第9回 事前・事後学習	【事前学習】新聞スポーツ面について各紙を調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）

<第10回>	マス・コミュニケーションの地域面における展開について解説する。 新聞カルチャー面の意味・役割を解説する。
第10回 事前・事後学習	【事前学習】新聞カルチャー面について各紙を調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第11回>	マス・コミュニケーションの社会面（事件）における展開について解説する。 新聞教育面の意味・役割を解説する。
第11回 事前・事後学習	【事前学習】新聞教育面について各紙を調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第12回>	マス・コミュニケーションの新聞と放送における展開について解説する。その1 新聞地方紙面の意味・役割を解説する。
第12回 事前・事後学習	【事前学習】新聞地方紙面について各紙を調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第13回>	マス・コミュニケーションの新聞と放送における展開について解説する。その2 新聞社説の意味・役割を解説する。
第13回 事前・事後学習	【事前学習】新聞社説について各紙を調査し、予習課題を実施する。（100分） 【事後学習】課題発表の準備または質問について調査する。（100分）
<第14回>	新聞以外の媒体、とくにインターネット報道との関係について解説する。期末試験実施
第14回 事前・事後学習	【事前学習】期末テストには新聞からの時事問題も出題される、毎日かならず新聞を読む習慣をつけてテスト対策とするように。時事問題は就職面接およびSPI試験では必須項目となっている。（100分） 【事後学習】講義全体内容の要点整理を行う。（100分）
質問への対応（オフィスアワー等）	月曜日12:00～13:00 中山洋教員室 12409A室
E-Mail address	nhiroshi@mail.dendai.ac.jp
履修上の注意事項（クラス分け情報）	
学習上の助言	
備考	
J A B E E	

学期末試験＜事務部記入＞	
試験方法	レポート
試験実施日時	
参照可否	
着席方法	
レポート提出先	Webclass
レポート提出期限日時	2022/07/04 月 17:00
備考	